

A者

事業者への確認事項（技術提案書）

～技術的事項の確認～

【ユニバーサルデザインの計画】

【日本らしさに配慮した計画】

【環境計画】

【構造計画】

【建築計画】

【基本図面】

【その他】

事業者への確認事項（技術提案書）
～技術的事項の確認～

【 ユニバーサルデザインの計画 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
101	ユニバーサルデザインの計画	18	1-2 安全でフラットな水平移動を実現 ・敷地内経路、各階コンコース、諸室への動線等、各フロア内の水平移動は段差のないフラットな計画にすることで、様々な人が快適にアクセスできる計画とします。	動線においてフラットな計画を提案しているが、3層スタンド出入口に階段がある。フラットな計画という大きな方針とスタンド出入口の段差について確認する必要がある。	動線上の安全性を高めるために、フラット化の方針を提案されていますが、3層スタンド出入口に階段があるように見受けられます。3層スタンド出入口部に階段を設置する理由を具体的にお示しください。	無
102	ユニバーサルデザインの計画	18	2-3 感動の瞬間を分かち合えるサイトライン計画 ・従来の車いす席計画は、前列の人が着席時のサイトラインを確保することが一般的でした。そのため、前列の人が立った場合、決定的な瞬間を見逃してしまうケースがありました。今回の提案では、2～3段分のせり出しを常設で計画することで、前列の人が立ちあがった状況でもサイトラインを確保し、得点シーンなどを見逃すことなく、感動の瞬間を分かち合うことが出来ます。	車いす席のサイトライン計画は、VVIP席等で車いすを使用する人にも当てはまります。また、一般観客とは異なり頻繁に立ち上ることが無いVVIPの観客にも同様の観点でサイトラインを計画する必要があります。従って、VVIP席でも同様の配慮がされているか確認する必要があります。	車いす席のサイトラインは、VVIP席で車いすを使用する場合にも確保が必要です。VVIP席で車いすを利用する場合も、サイトラインが確保されていると考えてよろしいですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
103	ユニバーサルデザインの計画 建築計画	18 31	2-1 どこからでも観戦可能な車いす席配置計画 一般観客席の車いす席(パラリンピック競技大会追加席)2層スタンド 6-3 12台の非常用エレベーター及び一時退避スペースによる安全性の高い車いす席の避難計画	パラリンピック競技大会時には、2層スタンドに多くの車いす席を追加することとなっていますが、避難計画や法的な観点から問題はないのか確認が必要。	パラリンピック競技大会時に、2、3層スタンドの373人が、車いす席から15分以内に避難は可能ですか。 また、その根拠も含めてお示ください。	無
104	ユニバーサルデザインの計画	19	3-2 アシスティングリスニングシステムの採用	ミニFM導入用のラジオブースの維持管理費の確認。	ミニFM導入用のラジオブースの計画について、本事業で実施する内容を具体的にお示ください。また、維持管理費が必要となるものについてはその年間の金額をお示ください。	無
105	ユニバーサルデザインの計画	19	3-4 災害音声誘導による安全性の確保	災害時、非常放送利用時に本システムが使用できない可能性があり、実現性が不明確なため	災害音声誘導システムは、非常放送使用時に音声を停止する必要があると思われませんが、その有効性についてお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
106	ユニバーサルデザインの計画 基本図面	19 04	7-1 エレベーターは、1階から5階まで、エスカレーターは1階から4階まで着床可能な計画とし、～	基本図面4/12のエレベーターリストでは地下2階から5階までとなっており、不整合であるため確認する。	エレベーターは、1階から5階まで着床可能な計画となっていますが、基本図面EVリストには4～5階に着床しないものがあります。ユニバーサルデザインとしての考え方を具体的にお示しください。	無
107	ユニバーサルデザインの計画	19	10-2 各利用者のきめ細やかな配慮 ⑩待機列から空ブースを確認できるようフラッグサインを設置します。	トイレのフラッグサインの仕様は不明。 ～	トイレのフラッグサインの仕様を具体的にお示しください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）

～技術的事項の確認～

【 日本らしさに配慮した計画 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
108	日本らしさに配慮した計画	20	1-2 「和」を想起させる、縦格子の「繰り返し」のデザイン	軒庇の連続した縦格子の維持管理費の確認。	軒庇の連続した縦格子について、木材の経年による変色等が懸念されますが、メンテナンス方法とその考え方を具体的にお示ください。また更新サイクルの考え方と年間の維持管理費をお示ください。	無
109	日本らしさに配慮した計画 環境計画	20 21 24	(p20) 1.2 加圧注入処理(K3仕様) 3.7 「風の大庇」の格子は…アルミ製とし、焼付塗装とします。 開口率20%～70% (p21) 1.5 加圧注入処理(K4仕様) (p24) 3.1 風の大庇	軒庇の加圧注入処理について差異がある。「風の大庇」と軒庇の仕様等に違いがあり、見え方に疑問がある。 木の縦格子の耐久性と開口率が不明 「適切な風環境」として、風の大庇(P.24)が提案されているが、ビル風や風切音に対する検討がされているか不明	風の大庇と木製縦格子に関し、以下についてお考えをお示ください。 ・木製縦格子斜め部の加圧注入処理はK4仕様と考えてよろしいですか。併せて、加圧注入処理後の表面仕上げをお示ください。 ・挿絵の平面図に示された開口率A・Bの配置は間違いではないですか。 ・木の縦格子について採用事例があれば、採用時期及び劣化状況についてお示ください。併せて本提案の下部木製縦格子の開口率等をお示ください。 ・「風の大庇」の設置による、ビル風や風切音等の問題は無いでしょうか。無いと考える場合はその具体的理由をお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
110	日本らしさに配慮した計画	22	1-5 「日本」を世界に発信する「情報の庭」 3階コンコースの一角に、日本の様々な情報を紹介する「情報の庭」を提案します。…多様な展示を行うことのできるように照明や配線などフレキシブルな対応が可能な計画とします。	本工事範囲の確認	3階コンコースの一角に、「情報の庭」が提案され、ギャラリーやイベントスペースなど市民活動の場として利用可能な計画とするとありますが、ギャラリーやイベントスペースとしての設えは、提案事業費内で整備されると考えてよろしいですか。	無
111	日本らしさに配慮した計画	22	1-6 伝統文化に触れることができ「文化体験ゾーン」 日本の伝統文化を実際に体験したり、情報を発信することのできる「文化体験ゾーン」の設置を提案します。 ・「文化体験ゾーン」は、フレキシブルな木フレームの展示ユニットにより構成し、茶会や囲炉裏等の体験やライブラリー等の機能を各ユニットに持たせた計画とします。 ・通常時は、展示ユニットを取り外し、控室等の他の目的のスペースとしても利用可能な計画とします。	本工事範囲の確認	「文化体験ゾーン」が提案され、フレキシブルな木フレームの展示ユニットにより構成し、茶会や囲炉裏等の体験やライブラリー等の機能を各ユニットにもたせた計画とするとありますが、その設えは、提案事業費内で整備されると考えてよろしいですか。なお、展示ユニットは、何か所整備されるのかお示しください。また、展示ユニット不使用時の収納スペース・方法について、お示しください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
112	日本らしさに配慮した計画	22	1-7 日本らしさを演出する「風のテラス」「風の庭」 ・「風のテラス」に面した「風の庭」は、枯山水を配し、サクラや紅葉、雪景色などの映像投影に利用するなど、日本の四季を感じることができる空間を提供します。	本工事範囲の確認	「風の庭」は、枯山水を配し映像投影に利用するなど日本の四季を感じることができる空間とありますが、枯山水や映像投影装置は、提案事業費内で整備されると考えてよろしいですか。	無
113	日本らしさに配慮した計画	22	1-11 ・サインは、メインカラーに「日本の伝統色」を採用し、和をモチーフとしたオリジナルデザインを提案します。 ・織物や暖簾を想起させる垂れ幕型サインを提案します。 ・屋外の案内サインなど、自立サインとしての強度が要求される部分に、国産木材のCLT材を利用することを提案します。	提案をすると記載があり、整備するのか不明。	「和をモチーフとしたオリジナルデザイン」、「織物や暖簾を想起させる垂れ幕型サイン」及び「自立サインとしての強度が要求される部分に、国産木材のCLT材を利用する」と提案されていますが、提案事業費内で整備されると考えてよろしいですか。	無

事業者への確認事項（技術提案書）
～技術的事項の確認～

【 環境計画 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
114	環境計画	23	パースに「(30年後の姿)」との記述	「30年後の姿」が何を意味するのか不明(植栽が成長しているだけ?)	パースに「(30年後の姿)」という表記がありますが、竣工直後との違いを具体的にお示しください。	無
115	環境計画	23	1-3 周辺環境の保全に配慮したスタジアム ペDESTリアンデッキに防風植栽を配置	暴風植栽による風害対策における効果が示されていないため	防風植栽による風害対策の効果と考え方を具体的にお示しください。	無
116	環境計画	23	1-3 周辺環境の保全に配慮したスタジアム 各階の連続した軒庇により、周辺への反射光を防ぎます。	低減効果の記載がないため	軒庇による光害対策の低減効果を具体的にお示しください。	無
117	環境計画	23	2-1 豊かな杜と里の風景を奏でる「大地の杜」 2-2 環境と対話し、周辺の景色を望む「空の杜」 2-3 人が憩い、生き物がすむ、豊かな水辺-渋谷川の再現	競技場及びその周辺に植える植栽について、維持管理費の確認。	環境計画に係る以下の提案について、植栽管理の考え方及び年間の維持管理費をお示しください。 ・大地の杜 ・空の杜 ・渋谷川の再現(せせらぎ)	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
118	環境計画	23	2-3 人が憩い、生き物がすみ、豊かな水辺 渋谷川の再現	維持管理費の記載がないため	本事業において整備する「せせらぎ」に係る井戸・雨水利用設備について、管理の考え方と年間の維持管理費を具体的にお示ください。 水循環浄化システムの導入にあたり、雨水利用槽の容量と水の収支バランスをお示ください。 また、デッキ下のせせらぎについて、降雨時のみ水が流れるせせらぎと、水を循環させるせせらぎの別をお示ください。さらに、降雨時のみ水が流れるせせらぎは、自然流下のみを想定しているかお示ください。	無
119	環境計画	23 24	2-3 人が憩い、生き物がすみ、豊かな水辺 渋谷川の再現 「せせらぎ」は、雨水集水機能を再生し、一部は地中に浸透するなど、水循環の回復に寄与する水辺です。	衛生上の観点、安全上の観点、ランニングコストの観点から大丈夫なのか。(子供は遊ぶであろう)	「せせらぎ」の計画について、水の汚れ、子供の水遊び、蚊の発生など衛生上、起伏ある地面や濡れた路面での転倒など安全上、水循環システムの電気代やメンテナンス費用などランニングコスト上、それぞれの課題の解決策を具体的にお示ください。	無
120	環境計画 参考添付資料 基本図面	23 参06 01	2-1 「大地の杜」の緑地への灌水設備は井戸と雨水を利用し、水を大地へ返すことで水資源の循環を図ります。 「せせらぎ」断面図 南西デッキ削減部断面	せせらぎの部分は立体都市公園タイプのどれにも該当しない地表の公園、重複利用していないので通常の公園になってしまうのでは。	立体都市公園には、地表部に「せせらぎ」がありますが、せせらぎ部分は公園面積に算入されない懸念があります。明治公園の面積が確保されているのか具体的にお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
121	環境計画	24	1-1 緑地、水面、保水性舗装、屋根塗装による表面温度上昇の抑制	温熱環境を下げるための取組が記載されているが、温熱シミュレーションの想定条件が不明確なため	温熱シミュレーションの想定条件を具体的にお示してください。	無
122	環境計画	24	1-1 緑地、水面、保水性舗装、屋根塗装による表面温度上昇の抑制	保水性舗装の保水率による気化作用が見込めない場合、どの程度の効果が見込めるか記載がないため	保水性舗装により、どの程度の効果が見込めるか実施面積を含め具体的にお示してください。	無
123	環境計画	24	1-4 ウォーターミストによる涼感の創出	ウォーターミストの設置の具体的計画及び温度低減効果が示されていないため	設置するウォーターミストの延べ長さ(ライン上でない計画の場合は具体的に)をお示してください。	無
124	環境計画	24	3-2 スタジアムの熱負荷を軽減する日射制御 ・・・観戦環境に配慮しガラス下部には、夏季に観客席に入る日射を防ぐ角度で固定アルミルーバーを設置します。	ガラス下面の清掃方法確認	屋根のガラス下部に日射を防ぐ固定アルミルーバーの設置が提案されていますが、ガラス下面の清掃の考え方を具体的にお示してください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
125	環境計画	24	3-3 観客席の温熱環境の改善	気流創出ファン及びウォーターミストの維持管理費の確認。	環境計画に係る以下の提案について、メンテナンスの考え方と年間の維持管理費をお示ください。 ・気流創出ファン ・ウォーターミスト	無
126	環境計画	24	3-3 観客席の温熱環境の改善 さらに、直達日射が当たる観客席を中心に気流創出ファンを設置し、弱風時の体感温度を低減します。	ファン作動時のフィールド上の風による競技への影響、客席の騒音について、記載がないため。 また、参考添付資料(8/10)で示されているシミュレーションの観客席の条件について確認を行う。	ファン作動時における競技への風の影響及び観客席へのファンの作動騒音の影響について、問題がないことを具体的にお示ください。また、参考添付資料(8/10)で示されているシミュレーションの観客席についての設定条件をお示ください。	無
127	環境計画	25	1-2 未利用エネルギーである下水本管(千駄ヶ谷幹線)の熱を芝育成用熱源に利用	行政協議が必要となっているが、許可を含めた実現性について確認を行う。	導入に際しては、行政との詳細協議に依ると記載していますが、提案事業費内において整備されるという理解でよろしいですか。	無
128	環境計画	25	1-2 下水熱の利用	一次エネルギー消費量及び下水熱によるエネルギー供給量が不明なため	年間の一次エネルギー消費量(MJ)をお示ください。 また、上記のうち下水熱によるエネルギー供給量をお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
129	環境計画	25	2-1 運用管理を支援する次世代型BEMSの導入 ※代表企業、独自保有技術 2-6 年間稼働エリアへの次世代人感センサーの採用 ※代表企業、独自保有技術	BEMSの独自保有技術について、システム更新時に業者指定となる制限があるのか確認を行う。	BEMS及び次世代人感センサーの代表企業独自保有技術について、システム更新時や、ソフトウェアの追加変更に際して業者指定となるか等、その条件について具体的かつ網羅的にお示しください。また、年間の維持管理費をお示しください。	無
130	環境計画	25	2-3 空調対象室の利用状況を踏まえた、適切な空調・熱源計画 熱源は電力デマンドやランニングコストなどを考慮し、ガス・電気をバランスよく採用します。	選定に至るライフサイクルコストの検討や熱源システムの内容について確認を行う。	熱源システムの選定にあたり、比較した熱源システムについてライフサイクルコストを検討している場合は検討した内容をお示しください。また、熱源システムの詳細(電気・ガスの使用比率、熱源種別、熱源容量・台数等)についてお示しください。	無
131	環境計画	25	2-4 各空調システムへの省エネルギー技術の導入 空冷ヒートポンプの室外機には散水装置を設け、より高効率な運転を可能とし、省エネルギーを図ります。	効果について、明確に示されていないため	空冷ヒートポンプの室外機に散水装置を設ける効果をお示しください。また、ライフサイクルコストを検討している場合は検討した内容をお示しください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
132	環境計画	25	3-2 建物形状の特徴を活かした雨水の有効利用 ろ過処理をした雨水は雑用水として、便所洗浄水・植栽灌水・芝散水に利用することで省資源化を図ります。	業務要求水準書第3章第4節4(9)②雨水利用設備は雨水をろ過、滅菌処理できることとされているが、雨水を芝散水等に利用する際に、人への影響を考慮したろ過処理、滅菌処理としているか確認を行う。	雨水を芝散水等に利用する際のろ過処理・滅菌処理について具体的にお示しください。	無
133	環境計画	25	3-3 ダンボールダクトの採用	ダンボールダクトについて、耐久性等が鋼板ダクトに比較して問題ないことを確認を行う。	ダンボールダクトは、耐久性と維持管理の観点で業務要求水準書を満たさないと考えられます。業務要求水準書を満たしていない場合は、提案事業費内で対応するという理解でよろしいですか。	無
134	環境計画	25	3-5 敷地内の落ち葉をコンポスト(たい肥)化し有効利用	コンポスト化の概要やライフサイクルコストについて、記載がないため確認を行う。	コンポスト化の概要と提案事業費内で実施する内容について具体的にお示しください。	無
135	環境計画	25	4-1 次世代燃料電池(SOFC)設置と計画	整備しようとする範囲が不明確なため	次世代燃料電池について、提案事業費内で実施する内容をお示しください。また、容量及びメンテナンスを含めた設置スペースについて具体的にお示しください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
136	環境計画	25	4-2 水素スタンドの設置場所を想定 ・・・敷地内に水素スタンド設置想定場所を確保します。	整備しようとする範囲が不明確なため	水素スタンド設置想定場所を確保とありますが、必要となる電源、給水設備等、提案事業費内において整備する内容を具体的にお示してください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）
～技術的事項の確認～

【 構造計画 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
137	構造計画	26	2-2 リングトラスと屋根先端むくりによる形態抵抗の形成	屋根先端むくりによる形態抵抗の形成が加算対象と考えられるかどうかの確認	アーチ効果を期待する屋根のむくり高さが約3.8m程度であり、ライズ・スパン比が1/25程度の低ライズ形状では得られるアーチ効果は極めて限定的だと考えられます。得られるアーチ効果について説明してください。 また、本提案の効果について、鉄骨部材がどの程度縮減されるのかお示してください。	無
138	構造計画	26	2-2 リングトラスと屋根先端むくりによる形態抵抗の形成	木材の剛性効果について効果の定量的な確認する。リング効果・アーチ効果が支配的であり、木材の効果が小さいのであれば、 があるため。	吹上風荷重時の変形抑制に対し、リング効果・アーチ効果が示されていますが、木材による剛性効果の寄与度についてもお示してください。 また、屋根は応力を全て鉄骨で負担する設計とする方針であるため、木材は大地震時等においても交換を要する損傷は受けないと考えてよろしいですか。	無
139	構造計画	26	3-1 木材利用による短期荷重時の変形抑制	実験及びその費用等も含めた総合的な検討がされているかの確認	屋根トラスの鉄骨と木材のハイブリッド構造において、モックアップ等を作成した実証実験を行う予定はありますでしょうか。また、実施した場合の費用については、提案事業費に含まれると考えてよろしいですか。	無
140	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	モニタリングシステムの実現性について確認	ご提案のモニタリングシステムは業務要求水準書を上回るものと考えてよろしいですか。 その場合、業務要求水準書どおりとする場合と比較した効果とコストについてお示してください。	無
141	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	屋根吊り物の設定についての確認	吊り荷重の位置、作用期間(短期、長期)をどのように設定しているのでしょうか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
142	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	上下動に対しても屋根吊り物の揺れを低減できるのか確認	水平方向地震以外の外力(上下方向地震や強風)に対して、どのような安全性評価を行うことで吊り物の安全性を検討される予定でしょうか。	無
143	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	制震装置の維持管理費の確認。	制震装置の保守点検の考え方及び年間の維持管理費をお示しください。	無
144	構造計画	27	4-1 下層階で地震エネルギーを吸収するソフトファーストストーリー制震構造	外周SRC柱とすると、架構剛性が高くなり、柔らかい架構にするソフトファーストストーリー構造と相反し、必要ダンパー量が多くなることが考えられる。	外周柱はSRC柱として計画していますが、ソフトファーストストーリー構造として図に示す程度の制震効果を期待するには、相当量のダンパー量が必要と推察されます。ダンパーの想定設置個所数をお示しください。	無
145	構造計画	27	4-2 時刻歴応答解析による制震効果の確認	地震時応力が業務要求水準書を満足しているかどうかの確認	業務要求水準書では、レベル2地震時において屋根・基礎は短期許容応力以内に納まることとしています。主要構造物においては、弾性限界耐力に納まるだけでなく、短期許容応力以内に納まっていると理解してよろしいですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
146	構造計画	27	5-1 耐震性能を高めるエキスパ ンションジョイント計画	通常より大規模なエキスパ ンションジョイント設置に より懸念される安全性の確認	多くの利用者が通行する部位にエキスパ ンション ジョイントが設けられています。利用者の安全性は 確保されていると考えてよろしいですか。また、利用 者の安全性を確保するためのエキスパ ンションジョ イント設計方針をお示ください。	無
147	構造計画	27	6-1 表 ③風荷重	保有耐力以下という条件が不明なため	異常気象などにより想定される荷重(地震・風・積 雪)に対して保有耐力以下に抑えるとの提案です が、「風・積雪に対して保有耐力以下」についてお示 ください。	無
148	構造計画	27	6-1 表 ③風荷重	竜巻荷重検討内容の妥当性を確認	竜巻を考慮した風荷重の設定方法、それに対する 安全性の検証方法を具体的にお示ください。	無
149	構造計画	27	4-2 時刻歴応答解析による制震 効果の確認 6-1 表 ④地震荷重	建物の地震時水平耐力が加対象と考えられるか どうかの確認	表④地震荷重中において設定している地震動のす べてについても、概ね弾性限界耐力に納まると考え てよろしいですか。また、概ね弾性限界耐力に納ま るという表現について、塑性率や累積塑性変形倍 率等の具体的な数値でお示ください。	無
150	構造計画	27	6-1 表 ⑤施工時荷重	施工時荷重の設定が妥当であるかの確認	施工時荷重の地震力の係数について、屋根部分に おいてもK=0.2ですか。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
151	構造計画	28	7-1 鉄骨造を基本としたスタンド	難しい納まりについて、実現可能か確認	スタンド部分のレイカー梁のPCaのSRC梁とS柱との仕口部の納まりについて、簡単に説明ください。また、難しい納まりとなることが想像できますが、提示された提案事業費内や工期内で実施できると考えてよろしいですか。	無
152	構造計画	28	7-1 鉄骨造を基本としたスタンド	構造的に問題のある内容について、実現可能か確認	最外周の柱には地震・風荷重時に大きな引張り力が発生すると思われませんが、露出柱脚及び直接基礎で基礎及び地盤への力の伝達について問題ありませんか。	無
153	構造計画	28	7-2 性能、品質を高めるスタンドのプレキャスト化	想定しづらい荷重の設定方法について確認	スポーツ観戦時の観客の飛び跳ねに対する振動検討における荷重設定方法および解析手法について、お示しください。	無
154	構造計画	28	8-1 十分な耐力と剛性を有する直接基礎	既存杭残置の有用性について確認	既存杭のある部分とない部分の沈下性状の違いに対する対応方針をお示しください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
155	構造計画	28	9-1 100年間構造上の大規模な修繕を行わずに使用可能とする構造体の対策	底版・マットスラブの防水性についての確認	底版・マットスラブは水セメント比を小さくするだけで、防水混和材の使用等の対応をしなくても十分な防水性能が得られるとお考えですか。	無

事業者への確認事項（技術提案書）
～技術的事項の確認～

【 建築計画 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
156	建築計画	29	1-3 すべての観客席から競技空間が見やすいスタンド形状 C値60mm以上 VVIP席は120mm以上	スタンド増設後の対応について記載がない	大会後の8万席以上への増設後も、全ての観客席からC値60mm以上(VVIP席は120mm以上)が確保できると考えてよろしいですか。	無
157	建築計画	29	1-5 充実した観戦環境を実現する座席計画 ・座席は強度・耐久性・耐候性があり、さらに燃えにくく安全性が高い合成樹脂ガスインジェクション成型品を採用します。	合成樹脂ガスインジェクション成型品の品質について、それ以外の製品及び素材と比較して優れていることを確認する必要があります。	座席について、合成樹脂ガスインジェクション成型品をご提案ですが、強度、耐久性、耐候性、難燃性について、他の製品との比較において、優れているということを数値等を用いてお示ください。	無
158	建築計画	29	2-1 大規模改修が不要な車いす席計画 ・パラリンピック競技大会時には、簡易なオーバーレイを一部施すことで約700席の車いす席を確保します。	オリンピック終了後、パラリンピック開催までの約2週間の短期間でオーバーレイ工事ができるか、実現性を確認する必要があります。	オリンピック競技大会終了後からパラリンピック競技大会開催までは短期間となりますが、オーバーレイ工事の工期及びその根拠をお示ください。なお、本整備事業の受注者以外の第三者がオーバーレイ工事を実施する前提でお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
159	建築計画	29	2-2 改修範囲の少ない大会後のスタンド計画 ・大会終了後は常設スタンドを改修せずオーバーレイが不要で、スムーズな転換が可能です。	オーバーレイによる増設スタンドが挿絵の通りに施工できるか不明なので、確認する必要があります。	本事業を実施するにあたっては、大会終了後に8万席以上とする増設スタンドについて、コンコースや避難などの安全性や、構造的な検証のうえ設計を行い、実現可能なことを確認していると考えてよろしいですか。 なお、その際の増設に係る概算事業費をお示ください。	無
160	建築計画 参考添付資料	30 02	4-5 最短距離で座席まで移動可能な、車いす使用者動線 ・2、3層スタンドの車いす使用者のために、IPC基準適合のエレベーターを南北計4台設置し、アクセスのしやすさに配慮します。	車いす使用者のアクセスのために南北にエレベーターを設けていますが、2、3層には東西にも車いす席があるので、最短のアクセスという訳ではありません。考え方を確認する必要があります。	車いす使用者のアクセスのために南北にエレベーターを設けていますが、2、3層には東西にも車いす席があります。このエリアの車いす利用者のエレベーター利用についての考え方をお示ください。	無
161	建築計画	31	7-1 災害時退避スペースとして利用可能なコンコースへの配慮 電気ストーブの利用が可能なコンセントを分散配置する計画とする。	電気ストーブの電気容量は大きく、想定台数によっては保安用発電機容量への影響も懸念されるため	コンコースに設置を想定する電気ストーブの電気容量のうち、保安用発電機の負荷として想定している電気容量を具体的にお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
162	建築計画	31	7-3 スムーズな救援物資の供給に配慮した防災備蓄倉庫スペース 防災備蓄倉庫は(略)500人×3日分以上の余裕あるスペース(450㎡)を確保します	観客(最大8万人)の備蓄用の倉庫位置等が不明	防災備蓄倉庫について、観客(最大8万人)用の収容スペースとして、どの部屋を想定しているかお示してください。	無
163	建築計画 基本図面	31 01	7-7 機能維持のための施設インフラ及びリアルタイム監視 配置図兼外構図	ハイブリッドソーラー外灯の設置方針の確認 また基本図面上にハイブリッドソーラー外灯は配置されているが、それ以外の外灯については配置されていない。	ハイブリッドソーラーを含む外灯の設置方針を具体的にお示してください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）
～技術的事項の確認～

【 基本図面 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
164	基本図面	01	■屋外施設概要 その他屋外施設 ベンチ/水飲み/手洗い場	数量の記載がない。	水飲み及び手洗い場の想定数量をお示ください。	無
165	基本図面 参考添付資料	03～06 参01	平面図(主要階) 平面図(全階) 1面積諸元表、仕上表 1面積諸元表 ③維持管理機能 機械室・シャフト 面積21,716㎡ 業務要求水準書との差 2,284㎡	要求面積より9.52%減あり、 [REDACTED]	業務要求水準書に対して、維持管理機能面積が9.52%減となっておりますが、維持管理機能の面積が不足と判断された場合は提案事業費内で、面積を増加させると理解してよろしいですか。	無
166	基本図面	04	平面図(主要階) EV9～11	EV9～11の仕様が不明	EVリストにないペDESTリアンデッキのエレベーターの仕様をお示ください。 また、EVリストにある分類の違いによる仕様の違いを具体的にお示ください。	無
167	基本図面 参考添付資料	05、06 参07	平面図(全階) 7-8 受変電設備	参考添付資料において、 [REDACTED]となっており、一方基本図面5及び6では [REDACTED]記載されているため	参考添付資料では、 [REDACTED]とあり、基本図面5及び6では [REDACTED]と記載されています。 異なる記載となっておりますが、高圧変電設備の計画について具体的にお示ください。	無

事業者への確認事項（技術提案書）
～技術的事項の確認～

【 その他 】

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
168	業務の実施方針 別紙様式5	05 1/1	1-4 基本設計業務を2016年5月に完了し、基本設計完了時の事業費確認書を基に第Ⅱ期事業契約を締結することを提案します。	事前工事の内容が不明。また、当該事前工事が事前着工に当たらないかの確認が必要。	2016年10月に仮囲整備、ゲート切下げなどを事前工事として着手することを提案されていますが、事前工事として実施しようとする行為について、具体的かつ網羅的にお示ください。それらの行為について建築基準法第6条第14項の規定に抵触しないのかについて抵触する恐れがないのであれば、その根拠を具体的にお示ください。また、建築確認が必要な行為として特定行政庁から指導を受けた場合にあっても、ご提案の完成期限を遵守していただけると理解してよろしいですか。	無
169	別紙様式5	1/1	《工程成立条件》	敷地に残置する山留杭などについて、廃棄物の処理及び清掃に関する法律との関係を整理することが必要。	「工程成立条件として山留杭(SMW・親杭)、構台杭、各種仮設基礎、計画に支障のない既存杭、地下躯体は全て残置するものとします。」とありますが、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条の規定やその他の法令に照らして、問題ないと判断された根拠を具体的にお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
170	別紙様式5	1/1	■本事業において当共同企業体が考える工程管理の提案ポイント	提案の契約方法について、事業者の想定している方法を詳細に確認する必要。	「2016年9月に、基本設計完了時の事業費が提案事業費以内であることを確認し、第Ⅱ期事業契約を締結することを提案します。(会計法第22条の運用)」や「提案工程を遂行するために、2016年8月末までに価格交渉ができる体制を整え、ご協議の上で「第Ⅱ期事業契約を2016年9月30日」までに締結することを提案します。」とのご提案内容について、以下についてお示ください。 ①第Ⅱ期事業契約は、新国立競技場整備事業に関する事業協定書(以下「事業協定書」という。)第7条の規定に基づき契約を締結することとしておりますが、同条第1項に基づき提出を求める事業費内訳書を付した見積書及び数量調査、見積条件書について、基本設計完了時点において、各資料をどのように作成しようとしているのか具体的にお示ください。また、第Ⅱ期事業契約を基本設計完了時に締結することについて、想定している趣旨・効果を具体的かつ網羅的にお示ください。 ②「会計法第22条の運用」とありますが、会計法第22条は、前金払い又は概算払いに関する規定と理解していますが、「会計法第22条の運用」とは何をどのように運用することなのか、具体的にお示ください。また、その運用について、会計法第22条に抵触しないことの根拠も合わせて具体的にお示ください。 ③第Ⅱ期事業契約の契約締結時において、その時点における設計業務や工事施工等業務(施工技術検討)の成果を提出していただく必要がありますが可能ですか。	無
171	工期	14	歩行者デッキ1号と2号の工事時期	歩行者デッキ1号と2号は工期末の工事と想定。工期半ばでつくる理由(敷地外は後工事と思われるが。)	歩行者デッキ1号、2号は竣工間際ではなく、提案時期に行う合理的な理由について、具体的にお示ください。	無

事業者への確認事項(技術提案書)

～技術的事項の確認～

A者

確認番号	資料名	ページ	資料の記載内容	確認が必要な理由	確認事項	追加資料の有無と指定様式
172	別紙様式5	1/1	敷地外ヤード ①A-3敷地	A-3敷地については、現在、都営住宅敷地として使用しており、建物の解体やオリンピック・パラリンピック競技大会準備等の支障とならないようにする必要があり、要望の時期に利用できない可能性があるため、利用期間に変更があった場合でも、工期に影響しないことを確認する必要がある。	A-3敷地を敷地外ヤードとして活用する場合の賃借料は、提案事業費に計上されていないと理解してよろしいでしょうか。 今回、提案されているA-3敷地の工程は、今後具体的に活用できる期間について、都営アパートの解体やオリンピック・パラリンピック競技大会準備に支障とならない範囲で発注者と協議し決定するものとなります。 そのため、活用期間に変更が生じた場合であっても、技術提案記載の完成期限は、遵守されるものとの理解でよろしいですか。	無